

令和6年12月 第26回入善町議会定例会

代表・一般質問要旨（発言順）

令和6年12月4日（水）議運決定

〔質問日 12月11日（水）〕

■代表質問

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	元島 正隆 (アクト)	<p>(1) 国づくりの根幹ともいうべき国政・県政の政局に対する考えを問う</p> <p>① 総理が代わり、地方創生に期待するものの、連立与党が過半数割れ、同盟国であるアメリカ大統領選挙ではトランプ政権が復活するなど、国内外で大きな政局の転換期を迎えているが、その結果を見て町長の所見はどうか。</p> <p>② 新田知事再選を受け、今後、「ワンチーム富山」連携推進本部等で富山県の未来像をどのように検証していくのか。</p> <p>③ 再選を果たした上田衆議院議員のお力添えを仰いで、今後どのような町づくり構想を作り、その取り組みを進めていくのか、具体策を問う。</p> <p>④ 野党が要望する年収 103 万円の壁の見直しにより、各自治体の税収減が問題視される中、新年度予算編成において、町の税収減や、町づくりへの影響はないのか、あるとすれば現状と対策の考えを示すべきだ。</p>	①～④町長
		<p>(2) 人口減少問題と高齢者生きがい対策問題について</p> <p>① 富山県でも人口減少や高齢化対策は喫緊の課題であるが、新川地域推進協議会においても圏域の重要問題として取り組む考えはあるのか。</p> <p>② 消滅可能性自治体と告げられてから脱却に向けた役場庁内会議や学識経験者等との話し合いは一步でも進んでいるのか、実態を問う。</p> <p>③ 県は急激な少子化を問題視し、2038 年度までに県立高校を 14 校減らし、20 校に再編する方針だが、町当局はどのように捉えているのか。</p> <p>④ 令和5年度の出生数は63人となり、少子化に歯止めがかからない中で、町内小中学校の在り方の検討は急務だが、議論されているのか。</p>	①②町長 ③④教育長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	元島 正隆 (アクト)	<p>⑤ 国立社会保障・人口問題研究所では、2050年までに入善町の高齢化率が52.1%になると試算したが、二人に一人が高齢者ということになる。全国的に高齢者の引き籠りや孤独死などが社会問題となり、高齢者の生きがい対策の強化が求められている。本町でも地域の様々な組織の弱体化や人のつながりが薄れたことにより、地域コミュニティの崩壊さえも心配されるような現状を鑑み、本町における今後の対策を問う。</p> <p>(3) 自然災害における安全対策について</p> <p>① 今年の元日に発生した能登半島地震の経験を踏まえ、富山県・入善町合同防災訓練が9月に実施された。魚津断層帯を震源とした大地震で多数の家屋倒壊、津波、火災、土砂災害などを想定した避難対策訓練であったが、今後の町の災害対策として取り組むべき課題はあったのか。</p> <p>② 新たなハザードマップを作製中だが、まちづくり懇談会での提案のように子どもたちでも簡単に分かるマップとなっているか、配布はいつか。各地区でマップの説明会や出前講座を開催すべきと考えるが、どうか。</p> <p>③ 各地区での避難訓練は当然だが、子どもたちの参加が余りに少ないのが心配だ。学校授業中の地震発生を想定した避難訓練や、教育関係者等の講習なども実施されていると思うが、実態はどうか。</p> <p>④ 能登半島地震の発生から1年が経過しつつある中で、被災した本町の深層水取水施設復旧事業費は28億円ほどであるが、町全体での被害額はいくらかと把握しているのか、その検証と対策はどうか。</p>	<p>⑤保険福祉課長</p> <p>①②総務課長</p> <p>③教育長</p> <p>④総務課長</p>
2	野島 浩 (自民清流会)	<p>(1) 「ストップ人口減少」について更なる飛躍を</p> <p>① 今年で町長が就任してから10年が経過したが、その年に、役場新庁舎建設・竣工という半世紀に一度あるか無いかの一大事業を終えられた。就任以来、頑ななまでに「ストップ人口減少」を貫いてこられた姿勢に賛意を示したい。今、10年という節目にあたり、更なる飛躍に向けての思いを伺う。</p> <p>(2) 今年度(6年度)の予算・事業の執行状況と令和7年度の予算編成について</p> <p>① 事業の執行状況と特筆すべき成果は。</p> <p>② 来年度予算編成の基本方針と重点施策は何かを伺う。</p>	<p>①町長</p> <p>①②町長</p>

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
2	野島 浩 (自民清流会)	<p>(3) 下水道料金の改定について</p> <p>① 平成 12 年の供用開始以来、町民にとって、下水道料金の概要・説明を受けるのは、ほぼ初めてと言える。 町内 10 地区のまちづくり懇談会で下水道料金の値上げに対する説明が行なわれたが、町民からの意見や反応をどのように受け止めているか。また、料金値上げに対して理解を得られたものと受け止めているのか、所見を伺う。</p> <p>② 一般的に電気・ガス・電話料金等の公共料金は常に「上げ」「下げ」の変動があるが、メディアの報道等で町民にも周知されている。下水道事業は町単独の公営事業であるため、経年劣化による設備更新や維持管理から、運営そのものに莫大な事業費が必要となってくる。他の公共料金と違い「下がる」ことは考えられないであろう。だからこそ、今回のように二十数年に一度ではなく、定期的に料金改定の検討を行い、その結果を町民に説明や広報を行うことが必要ではないか。当局の見解を伺う。</p> <p>(4) 部活動の地域移行について</p> <p>① 部活動の地域移行については、2023年から2025年の3年間で「改革推進期間」と位置づけている。指導員、財源、保護者の負担金、地域や保護者との関係性など種々の課題があるが本町における現在の取組状況を伺う。</p>	①②町長
3	松田 俊弘 (日本共産党)	<p>(1) 下水道使用料について</p> <p>① 町の下水道使用料は、1人世帯、2人世帯が非常に高く、世帯人数が増えるほど一人当たりの使用料が安くなる逆累進性の料金体系となっており、それが使用料収入を抑える結果になっている。 上市町や立山町などで行っている中新川広域行政事務組合の使用料体系にすれば、町の使用料収入は 4000 万円程度増えるとみるかどうか。</p> <p>② 1人世帯、2人世帯は高齢者が多くその負担を減らすと同時に、より安定的な使用料収入にしていくためにも、早期に逆累進性の料金体系の見直しを始めるべきだ。</p>	①～③町長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
3	松田 俊弘 (日本共産党)	③ 先日、総務省自治財政局準公営企業室の課長補佐から、地方財政法も地方公営企業法も下水道は独立採算が原則だが、一般会計の繰り入れは禁止していないとの回答を得た。町は一方的な使用料の値上げではなく、一般会計から繰入れて町民の負担増は避けるべきだ。	
		(2) 地域経済について ① 物価高が続き賃金の伸びが物価高騰に追い付いていない。町内企業の賃金の実態はどうか。 ② 帝国データバンクによると、来年予定されている値上げは、現時点で 3933 品目に上るとしている。1 月にパン製品が一斉に値上げされるなど、春にかけて断続的な値上げラッシュが見込まれている。町は、一人親世帯や住民税非課税世帯などへの経済的支援を継続して行うべきだ。	①税務課長 ②保険福祉課長
		(3) 認知症対策について ① 今年 4 月から県内全市町村でSOSネットワークと損害賠償保険が導入され、10 月から本人確認も全市町村がQRコードで行うようになった。同損害賠償保険は市町村別でなく県内で一元化し、それにかかる費用は県と市町村が折半するよう県に働きかけられたい。 ② 国立長寿医療研究センターを中心とした研究グループは、難聴と認知機能低下との強い関連を見いだしたと報告している。また、海外と比較して、日本では補聴器の使用率が低いとしている。県内でも加齢難聴者の補聴器購入に補助する自治体が増えており、町も補助を実施すべきだ。	①②保険福祉課長

■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中瀬 淳哉 (一括方式)	(1) 部活動の地域移行について ① 休日の部活動の地域移行について進捗状況はどうか。 ② 地域クラブへの移行について町はどのように考えているのか。 ③ 部活動や地域クラブの今後について体協の種目別協会と意見交換会を数回開催していたかと思うが、どのような内容でどんな意見が出たのか。 ④ 地域クラブへの移行の際の課題に対し、町の協力姿勢を具体的に示すべきだ。	①～④教育長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中瀬 淳哉 (一括方式)	<p>(2) タブレット端末の更新について</p> <p>① タブレット端末の更新により、端末が Google Chromebook と変更になるが、児童生徒や指導者に授業などで問題は起きないのか、また混乱が生じないようなサポート体制は取れているのか、周辺機器との整合性は取れるのか。</p> <p>② 3年から4年の更新ごとに約8千万円がかかることになるが、その財源はどうしていくのか。高校のように保護者負担になるということは今後も無いのか。</p>	①②教育委員会事務局長
		<p>(3) 役場の職場環境と人材について</p> <p>① 今の職員定数が現状の仕事量にあっているのか、それだけ多様化した仕事に対応できる定数になっているのか。</p> <p>② 人口減少社会を今ある戦力で乗り切っていくため、会計年度職員の待遇改善をするべきだと考えるがどうか。</p> <p>③ 技術職について、今後の人口減少による労働力不足を考えると、初級から採用しても良いのではないかと考えるがどうか。</p> <p>④ 建築技術職については喫緊の課題であるが、大学や専門学校等にも職員採用の呼びかけをしているのか。また、今まで建築技術職がしていた仕事について、どのように対応しているのか。</p> <p>⑤ 職員の資格取得に補助をしてはどうか。</p>	①～⑤総務課長

〔質問日 12月12日（木）〕

■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	井田 義孝 (分割方式)	<p>(1) マイナンバー保険証について</p> <p>12月2日から紙の保険証の新規発行が停止され、マイナ保険証の本格運用が開始されたが多くのトラブルが予想される。</p> <p>① 全ての人の問題なく保険診療を受けられるよう、マイナ保険証の運用方法、マイナ保険証を持たない人の対応など、今一度広報などで周知を図るべきと思うがどうか。</p> <p>② マイナ保険証の運用に関して、トラブルの実態をどの程度把握しているか。</p> <p>③ マイナンバーカードと保険証のひも付けを解除する方法はあるのか。解除後は資格確認書が送られてくるのか。</p> <p>(2) 防災対策について</p> <p>① 現在、避難所の資機材として段ボール製の間仕切りが用意されているが、組み立てが複雑で壊れやすく、防災士からも入れ替えを要望されている。瞬時に組み立てられるテント型の間仕切りに入れ替えるべきだ。</p> <p>② 正月の能登半島地震の津波は3分で富山港に到達した。県の調査では、入善町には10.2mの津波が7分で到達するとされている。これでは車で避難をしても間に合わない。先進地の事例を調査し、海岸集落ごとに津波避難タワーの建設を研究すべきだ。</p> <p>③ 各自治体ごとにトイレカーを導入すべきと考えるが、町は先進地や近隣市町の動向、運用を研究するとしたが、どうなっているのか。</p> <p>(3) マツクイムシ対策について</p> <p>① 園家山のマツクイ被害は終息に向かいつつあり、毎年、耐性クロマツの苗が補植されているが、報徳地内、深層水施設の裏側で感染が広がっている。伐倒駆除が進み地元では風害への懸念が出ている。県とも相談し、この場所へも補植すべきだ。また、このままでは西側のマレットゴルフ場側に被害が及ぶのも時間の問題である。予防的樹幹注入を行うなど、松枯れ予防に万全の対策を取るべきだ。</p>	<p>①～③保険福祉課長</p> <p>①～③総務課長</p> <p>①建設課長</p>
6	佐藤 一仁 (一括方式)	<p>(1) 今年のまちづくり懇談会について</p> <p>① 共通テーマだった公共下水道使用料以外でどのような意見や要望、提言がなされたか。</p>	<p>①秘書政策室長</p>

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	佐藤 一仁 (一括方式)	② 横山地区では、学童保育の時間延長とパークゴルフ場の冬期利用に関する意見があったが、当局の対処方針を問う。	②うち学童保育／結婚・子育て応援課長 ②うちパークゴルフ場の冬期利用／水道課長、住まい・まちづくり課長
		(2) 公共交通の将来構想について ① 11月の臨時議会で「のらんマイ・カー」2号車の更新が承認された。今後、1号車も更新対象とするのか、基本方針を問う。 ② 「ウチマエくん」と二重投資にならないよう注意すべきと考えるが、考えを問う。 ③ 入善高校生のために、8時過ぎに入善駅から入善高校、役場へと運行してはどうか。 ④ 黒部宇奈月温泉駅からの二次交通についてどのように考えているか。 ⑤ 入善駅の活用についてどのような考えを持っているのか。	①～⑤キラキラ商工観光課長
		(3) 小中学校の体育館の空調設備整備について ① 近年の夏の気温上昇によって、小中学校の体育館の利用ができず、授業や学童保育に支障がでていないか。 ② 体育館は災害時の避難所としても利用する。エアコンを設置すべきと考えるかいかがか。	①②教育委員会事務局長